

バイオマス取組事例概要

近畿

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農林水産大臣賞)

- 応募主体 松下電器産業株式会社
- 都道府県・市町村 大阪府門真市(本社所在地)
- 取組分野 バイオマスプラスチック、BDF、堆肥化

取組概要

製品パッケージのバイオマスプラスチック化、工場食堂廃食用油・生ゴミのBDF燃料化・堆肥化、自治体と連携した家庭生ゴミ堆肥化の推進

年間生産約2千万パックの乾電池のパッケージをオールバイオマスプラスチック化、バイオマスプラスチック利用約130t/年としてCO₂排出削減に寄与するとともに、パッケージへのバイオマスマークの表示や解説の記載により消費者のバイオマスプラスチック認知度向上に貢献。

滋賀県下のグループ企業工場の社員食堂から出る廃食用油をBDF燃料化、工場に入りする配送用車輌にて使用する取組を平成17年10月より開始、県下の他企業にも呼びかけ、16社18事業所が参加し年間32,300リットル(見込み)の廃食用油を回収・BDF燃料化するシステムを構築。

グループ全体を挙げて取り組む「地球を愛する市民活動」の一環として、社員食堂生ゴミを堆肥化し地域農家等へ提供、堆肥利用農産物を工場食堂にて利用する等食品リサイクルの取組を各地で生み出している。また、業界初の家庭用生ゴミ処理機開発と、各地の自治体と連携した「生ゴミゼロ計画」キャンペーンの実施により、家庭生ゴミ堆肥化の促進に貢献。

バイオマスプラスチック採用を消費者に広く知らせるため、包装材・カタログなどへ「訴求文」「ロゴマーク」を表示



社員食堂の廃食油のBDF化の推進

廃食油の回収



日本有機資源協会
第1回認定(平成17年2月22日)
「バイオマスプラスチックを使用した
乾電池のプリスター・パック」



生ごみ処理機の全国普及キャンペーン

2004年からスタートした「はじめようキッチン生ごみゼロ計画」。
名古屋、新潟、別府、松山でイベント開催を通じて普及キャンペーンを開催



社員食堂の生ゴミ堆肥化、農家等への提供



生ゴミ処理機で堆肥化 生ゴミゼロ計画実施